



# 虫の目、鳥の目通信 第24号



## 会員募集中!

2008年7月27日



2008年7月6日(日) 9時30分~13時 大人13名、子供2名参加

いよいよ梅雨明け、時間がたつにつれて暑くなってきましたが、梅雨のなごり、カタツムリもあちこちで見られました。森林コース、田んぼコースのどちらにしよ



うか、との問いかけに、「森に行きたい」と吉木さん。「帰りに簡保の工事も見たいしね」ということで森コースに決まりました。

初めて参加されたMNさんはネジバナの美しさにびっくり。小さくてもランの花、今が盛りです。Yさんご夫妻も、虫の大好きなY君とIちゃんのお孫さんを連れて初めての参加でした。



枝に似ているので「ドビンオトシ」の名前があると教えてくださったのは三木さんです。これ、ナナフシの仲間のことを言うそうです。つまり枝と違って土瓶をかけたら、

落ちてしまったという話です。今日は大きなナナフシモドキがいましたね。



末永さんは、アカメガシワに止まっていたとても細い緑の尺取虫を松下さんが見つけれられたのに関心しきりでした。「アオスジアゲハの翅の鱗粉がファープルでとてもきれいだった」と松下Mさん。実はこの翅はY君が見つけてくれたんです。

山本Mさんは、簡保の工事でイカルチドリがどこに行ったか心配されていました。「カエルが田んぼに沢山ですね」と辛島さん。オタマジャクシも沢山いましたね。同じく田んぼにいる「カイエビに久しぶりに会えた」と松下Sさんと山本Sさん。水が入った田んぼは沢山の命を育てています。

松下 彩二

ここでチーというカワセミの声。田んぼと林の間にある溝で餌採りをしていました。「ゆっくり観察できた」と吉木さん。「チュウサギが田んぼにいて、嬉しかった」と吉岡君。模試の前でも参加してくれてよかったです。

### ちょっと立ち話 藤田清人さんにお会いしたときにうかがいました。

「昔は(子供の頃)、ヒシが池にいっぱいあって、そこでワシたち子供は泳いでいたときもあった。何しろプールないときだから。ヒシは今もあるかな?」今でも部分的に残っていますよ。でも溜池で泳ぐのは怖くありませんか? 深いし。「ああ、ヒシの根が足に絡まる事があったな。そういう時は足の力を抜いてトンと蹴って一呼吸おくと、スーと足からほどけたな。そして、池の水面近くは暖かく、底は澄んでいて冷たくて気持ち良く、潜るとヒシの茎に小魚や水中虫が泳いでいたことを思い出す。又、ヒシにカイツブリの巣があったことを憶えている。そう、そう、池の淵にカワセミが停まり小魚を狙っているのを目撃した事があるね。カワセミは堤の山肌に穴を掘って巣を作っていた。子供の手が入るほどの穴で小魚の匂いがしていたことを憶えています。」

藤田さんからのメールより。

- ※ 子供の頃はよく堤で泳いでいました。久留米には水天宮があり、分家といつて良いのか、力武区に小さな祠があります。水天宮です。2~3歳、低学年は首に水天宮のお守りをつけていました。(太目の糸で、たしかお守りはなぜか、小さなひょうたんの形?で、ネックレスのように首にかけていました。それから2~3歳の子は三角形の胸当てをはめ(金太郎のような)格好をしていました。
- ※ 子供の頃は神様が心の中に存在していたような気がします。「御天とう様(太陽)夜はお月様、が見ている」とか、「壁には耳あり、障子に目あり」とか、どこかで監視されている、ことを教えることで、「だから悪い事はしてはいけない」と自然に教えるリズムがあったような気がします。今は人が見ていないとき、人が見ているときも悪い事をする。ばちが当たる(三沢では、「ばちかふる」と言いますが)ことを忘れてる様です。

現在の溜池は遊泳禁止となっています。松永



発行物のお知らせ(申し込みは [mikuni@room312.com](mailto:mikuni@room312.com) 追って担当者から連絡します。)

☆ DVD「新九州歴史資料館のまわりを歩こうよ」 会員価格1000円、一般価格2000円 + 送料  
尚、DVDをお求めの方に冊子を一冊お付けします。担当者 末永邦夫さん 郵送希望の場合は送料200円追加

☆ CD「ムヨウランの森便り」 価格1000円 + 送料

松永が2006年にみつけたウスギムヨウランとホンゴウソウをその後1年間追跡調査して得た画像データです。

「ウスギムヨウランの1年」「ホンゴウソウの1年」「この森や林縁で見られる生きもの」の3部構成です。

担当者 松永紀代子 郵送希望の場合は送料140円追加



### ありがとうございました

uuさんから1200円、nmさんから1700円のカンパをいただきました。ありがとうございました。

### 今後の予定

- 8月2日(土) 夜の観察会 19時理蔵文化財調査センター集合  
要保険料 長靴(サンダル履き不可) 懐中電灯 水筒
- 9月6日(土) 場所は未定です。

発行元 三国丘陵の自然を楽しむ会

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

連絡先 willard@mbc.ocn.ne.jp

TEL 092-920-3072

編集協力: 松下雅子、勝野史雄

写真協力: 松下彩二、勝野史雄、三堂宗信

写真・カット・文 まつなかきよこ